

帆刈雅宏

Masahiro Horikiri

整理された図解で
ポイントがひと目とわかる。

初心者への知りたいたいことを
至れり尽くせりでお解説。

あなたにとっての重要なポイント部分が
簡単にわかる。

【図解】

見て、読んで、
パソコンに強くなる

パソコン入門



帆刈雅宏

Shinsho no Nihon

【図解】

異国を眺んで
パリ・コンに強くなる

パリ・コン入門





パソコンの入門書というと、おもにふたつの層面に分けられる。ひとつは、具体的な動作例を掲載し、実際にパソコンに接しないながら読む事。そしてもうひとつは、パソコンの世界を面白い形で眺めつつ、パソコンのなんたるかを首を傾げた本である。本書は、後者の本に属している。

したがって、この本を読んだからといって、即、パソコンがホイホイと使えるようになるわけではないことをお断りしておこう。本書は、あくまでもこれからパソコンを買おうという人、もしくは、実際にパソコンに触れてはいるが、どうもパソコンのアウトラインがはっきりとみえてこない、という人のために書かれたガイドブックである。

ひところは膨大な勢いで売れていたパソコンが、ここのある(90年代前半)ちょっと静けさだという。その理由は、とりあえずパソコンを買ってみようかという潜在的購入層が、ひととおりパソコンを買ってしまっただからだといわれている。しかし、それとは別に、これまでの超大型機の買い替え層もまたかなりの数に昇るといわれ、家庭-officeという新しいソフトウェア環境の台頭とともに、パソコン市場にも再び活気が湧くのではないかとされている。

そこで、この本で解説していることといえば、これからパソコンを買おうという人のための購入ガイドがまず中心。そこから、使える周辺機器とソフトウェア、そして、パソコンを取り巻く環境といったテーマを枝葉として全体を構成している。なかには、初心者には理解とされるテーマもいくつか文交しているが、それもまたパソコンの真実ということで、登載して読んでみていただきたいと思う。

面白いといわれるパソコンを、いかになじみやすいものとして感じてもらえるか。本書のごく一部でも、読者の皆さんのお役に立てれば幸いである。

1993年6月

帆 笥 豊 俊

目次

はじめに

1章 パソコンってなんだろう

1) パソコンと接する前に知ってほしいこと	8
2) パソコンにはどんな種類があるか	10
3) 初めて買うパソコンはどんなもののがいいだろう	12
4) ワープロマシンとパソコンはここが違う	14
5) DOS/VMマシンとPC-9801との違いはどこか	16
6) パソコンはできるだけ速いものを買うべし	18
7) 周辺機器もパソコンの一部である	20
8) パソコンの拡張スロットはなんのためにあるのか	22
9) パソコンで動くソフトウェアにはこんなものがある	24
10) キーボードなんか怖くない!	26
11) フロッピーディスクを使いこなそう	28
12) パソコンで一番最初に買うべきソフトウェアは?	30
13) 読めない印刷は救っておいてはいけない	32
14) 中古パソコンとの付き合い方を考える	34
15) パソコンはトラブルメーカーだ	36
16) パソコンで扱う単位について知っておこう	38
17) パソコンでやってはいけないべからず集	40
18) 漢字コードの覚方とワープロ振換の活用法	42
19) パソコンにとって互換機とはなんだろう	44
コラム——私のパソコン履歴書	46



2章 周辺機器のカatalog屋ナナメ読み

知	ディスプレイについての正しい知識を身につけよう	49
知	机の上を自在に動き回るマウスとその仲間たち	50
知	フロッピーディスクドライブについての基礎知識	52
知	ハードディスクドライブはなぜパソコンの必需品	54
知	MO(光磁気)ディスクは大量のデータ保存に最適	56
知	パソコンをさらにパワーアップさせる増設メモリ	59
知	パソコン用のプリンタはページプリンタで決まりだ	60
知	パソコン通信にモデムは必要不可欠だ	62
知	イメージスキャナでパソコンに画像を入力する	64
知	CD-ROMで始まるマルチメディアの世界	66
知	MIDIを使えば誰でもミュージシャンになれる	68
知	パソコンで扱えるその他の便利な周辺機器たち	70
知	SCSI規格と周辺機器との関係を知る	72
知	ローカルバス標準化への問題点を語る	74
知	ハードディスクはバックアップをとるべし	76
知	CPUアクセラレータの正しい選択法	78
知	コラム——私のパソコン選定法	80

3章 パソコンを究めるための第一歩

知	ソフトウェアを動かすためのソフトウェア	82
知	MS-DOSの約束事① ファイルという概念	84
知	MS-DOSの約束事② 基本ファイルのいろいろ	86
知	MS-DOSの約束事③ コマンドとはなにか	88



④ MS-DOSの約束事4 便利な階層ディレクトリ	90
④ MS-DOSの約束事5 デバイスドライバの概念	92
④ 覚えておこう 便利なフイルドカードキャラクタ	94
④ テキストファイルとバイナリファイルの違い	96
④ 覚えるべきコマンドはたったこれだけ	98
④ MS-Windowsで始まるパソコンの新しい世界	100
④ パソコンのマニュアルとの付き合い方	102
④ インストールっていったいなにをすること?	104
④ 日本語入力FEPはかな漢字変換のカナメである	106
④ ソフトウェアにはバージョンアップがある	108
④ メモリマネージャでMS-DOSのメモリ管理	110
④ バッチファイルで一括処理を実現させよう	112
④ 間違っておしたファイルを復活させるにはどうするか	114
④ 常駐プログラムの仕組みと用法を覚えておこう	116
コラム——私のパソコン道楽	118

4章 目的別ソフトウェア大ざらい

④ ワープロソフトはすべてのソフトウェアの拠点だ	120
④ OTPソフトで本格的な印刷物を仕上げよう	122
④ データの個別管理にはデータベースソフト	124
④ 表計算ソフトは超インテリジェント電卓	126
④ マウスで作るコンピュータグラフィックス	128
④ 製図ならおまかせのCADソフト	130
④ 電話で広がるパソコン通信の世界	132
④ 試してもできる通信ホスト開発のためのノウハウ	134



④	統合化ソフトはソフトウェアの真の内弁当だ	130
④	MIDIで始めるコンピュータミュージック	138
④	ユーティリティソフトと呼ばれる便利な小物たち	140
④	無償で振り立つフリーソフトウェア	142
④	ファイルの圧縮・展開管理ツールの使い方	144
④	プログラミング言語で知的財産を保護しよう	145
④	パソコンゲームをバカにしてはいけない	149
④	中身のわからないソフトウェアの試用版あれこれ	150
④	マクロ機能でソフトウェアをパワーアップさせよう！	152
	コラム——私のパソコン履歴書	154

5章 パソコン世界の周辺地図

④	パソコン通信で変わるあなたのライフスタイル	155
④	情報収集ツールとしてのパソコン通信を確認する	158
④	ハッカーとはコンピュータの専門家である	160
④	市販ソフトはコピーするものではなく買うものだ	162
④	バグとはソフトウェアに喰食う虫である	164
④	コンピュータウイルスについての傾向と対策	166
④	パソコン通信で現実化する夢の在宅勤務	168
④	LANで始まるオフィスネットワーク	170
④	コピー社会と著作権との関係を考えよう	172
④	マルチメディアの中枢としてのパソコン	174

絶了————金田利典
レイアウト————ラスタクラブ
印刷代金————木内啓彦・栗林光雄・高倉保二

MS-DOS, MS-Windows はマイクロソフト社の登録商標です。

OS/2 はイームズ社の登録商標です。

本誌中で使用する各ソフトウェアあるいはハードウェアには、各々の商標、または登録商標です。